

研修目標と実習方法について

職種名「診療放射線技師レジデント」

1 概要

放射線診療業務全般に関する基礎的知識の習得に加えて、がんに関する画像診断技術や放射線治療技術などの専門的な知識・技術の習得を図り、がん診療に精通した診療放射線技師を養成する。

レジデント入職後、経験や知識、希望などを考慮し、総合コース・画像診断コース・放射線治療コースから選択し、専門的な研修を行う。画像診断コース及び放射線治療コースについては臨床経験のある診療放射線技師を対象とし、2年間集中してそれぞれの分野に応じた研修を行う。

2 目標

1) 一般目標

診療放射線業務全般に関する基本的技術の習得や、画像診断・放射線治療について専門的な知識を習得

2) 行動目標

下記知識・技能の習得を目標とする。

- ・ 放射線診断に関するがん専門知識・技能の習得
- ・ 放射線治療に関するがん専門知識・技能の習得
- ・ 放射線防護・放射線管理、機器管理、品質管理に関する専門知識・技能の習得

3 実習方法

総合コースについて、1年目は画像診断を中心に、一般撮影、消化管、CT、血管、MRI、核医学を実習する。2年目は放射線治療にてリニアック、小線源、陽子線を実習し、放射線管理を学ぶ。また、各部署にて講義、カンファレンスに参加することで知識、技術を習得する。

- a) がん診断のための撮影検査理論と臨床技術（一般撮影、消化管撮影、血管造影、IVR、CT、MRI、核医学、PET）
- b) がん放射線治療のための臨床技術（リニアック、小線源治療、陽子線）
- c) X線撮影装置及び放射線治療装置の品質管理
- d) 放射線防護、放射線管理に関する法令に関する
- e) 医師、看護師などの他医療職種とのチーム医療の実践

画像診断コース、放射線治療コースについてはそれぞれの分野について2年間、がん診療を通して専門的な知識や技術を習得する。